

久御山町  
第2期産業振興計画  
アクションプラン

令和3年11月

久御山町

## 目 次

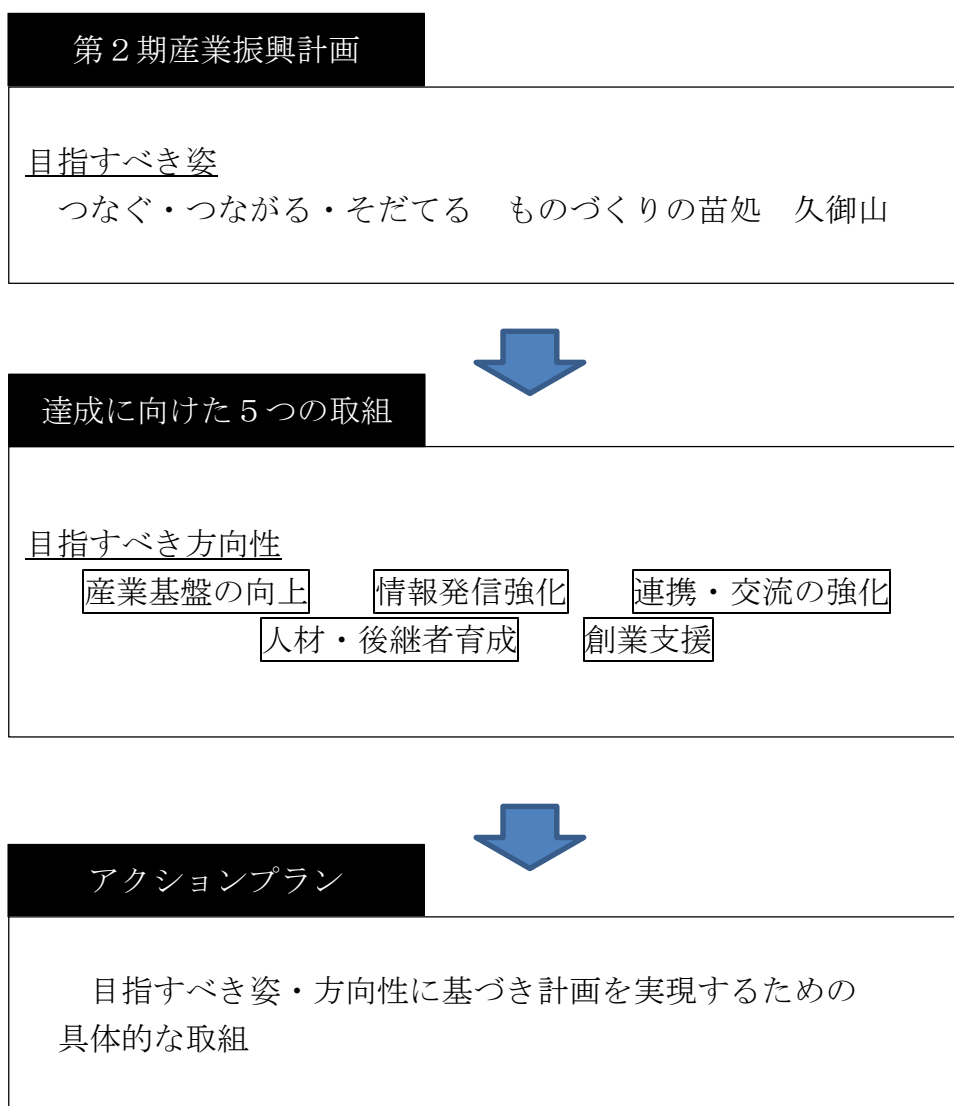
1	趣旨	1
2	位置付け	1
3	計画期間	2
4	産業振興計画の推進体制	2
5	アクションプラン	3
6	産業振興プロジェクト会議・産業振興ワーキングチーム会議	21

## 1 趣旨

本町では、産業の活性化を図るため「つなぐ・つながる・そだてる ものづくりの苗処 久御山」を産業振興の目指すべき姿とし、令和2年3月に久御山町第2期産業振興計画を策定しました。

本計画に掲げた方向性を実現するため、計画期間中に実施する具体的な施策を整理するとともに、進捗状況を管理するためのツールとしてアクションプランを策定します。

## 2 位置付け



### 3 計画期間

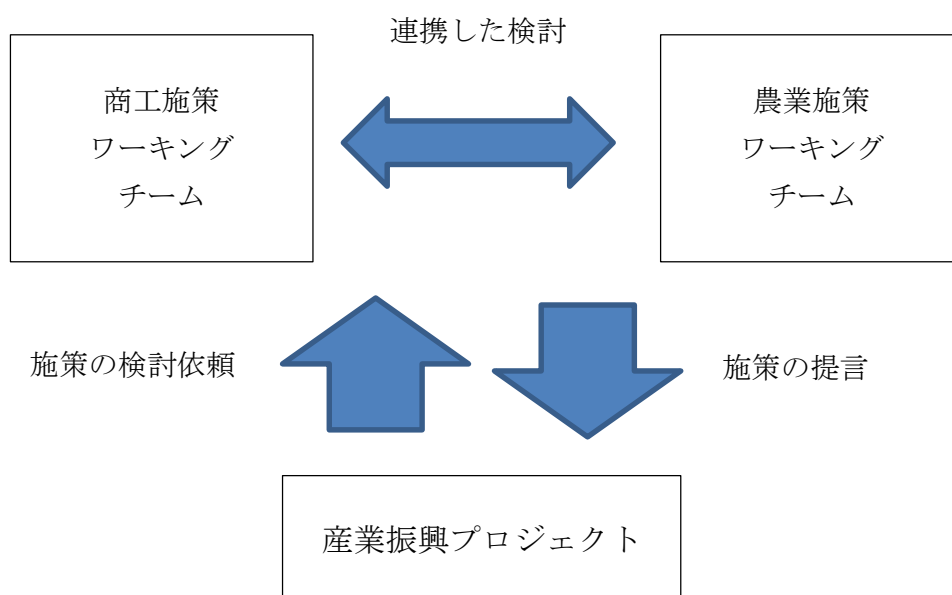
上位計画である第2期産業振興計画の最終目標年次と合わせ、目標年次は令和6年度までとします。

					(年度)
	令和2	3	4	5	6
第2期産業振興計画	▶				
アクションプラン		▶			

### 4 産業振興計画の推進体制

本計画に掲げた方向性を実現するため、産業支援機関や金融機関、京都府、有識者等の関係者によって構成する産業振興プロジェクトを令和3年6月に設置しました。アクションプランによる具体的な計画の推進を図るため、商工施策と農業施策それぞれのワーキングチームを組織しアクションプランについて毎年議論を重ね、計画の進捗管理やその時の状況に応じたプランにブラッシュアップします。

#### ●推進体制のイメージ図



## 5 アクションプラン

達成に向けた5つの取組ごとに、目指すべき姿・方向性に基づき、具体的な施策を実施します。

- (1) 産業基盤の向上
- (2) 情報発信強化
- (3) 連携・交流の強化
- (4) 人材・後継者育成
- (5) 創業支援

## 久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

### (1) 産業基盤の向上

KPI (重要業績指標)	当初(令和2年度)	目標年(令和6年度)
クロスピアくみやまのバスターミナル利用者数	273,590人	300,000人
中核的担い手への農地の集約率	41.1%	45.0%
企業立地マッチング情報提供件数	4件	10件

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度 of 取組予定・課題
<b>土地</b>							
<b>新たな産業用地の確保</b>							
<b>【新規】</b> 町の産業の活性化を図るための新市街地「みなくるタウン」の整備の促進 (庁内連携)	市田・佐古・林地区で、産業活動の活性化や住宅地の形成を推進するため、産業立地促進ゾーン及び住街区促進ゾーンを形成し、新市街地「みなくるタウン」として整備を進める。			→			<b>【取組予定】</b> みなくるタウン第1期整備地区における土地区画整理事業準備組合設立、本組合の設立、市街化編入、食品関連を含む企業誘致を目指す。 <b>【課題】</b> 実際に当該地で事業者が操業するまでには、相当の時間を要する。
<継続> 農地集積コーディネーターによる中核的担い手への集約による農地の確保及び有効活用	農地集積コーディネーターのもとで、農地をより効率的に活用してもらうために、中核的担い手への集約を進め、安定的な農業経営ができるよう必要な農地の確保及び有効活用を推進する。			→			<b>【取組予定】</b> 随時、農業者からの情報収集を行い、売り手・買い手の仲介を行う。 <b>【課題】</b> 近年、集約化が進んでいることから、今後大規模な集約化は望めない。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
<b>農商工バランスのとれた土地利用の維持</b>							
<b>【新規】</b> 町内企業の規模拡大や企業誘致への積極的支援 (庁内連携)	新市街地「みなくるタウン」をはじめとする市街化編入を目指す区域を中心に、事業拡大により拠点が点在する町内事業所の用地集積や、町外からの企業誘致を促進し、必要な支援を把握、補助制度を実施する。	制度 検討	創設 準備	●創設	実施	実施	<b>【取組予定】</b> 企業の動向や支援ニーズを把握しながら補助制度の検討を行う。  <b>【課題】</b> 補助要件に該当する業種や補助内容の検討。
<b>【新規】</b> 約600年の伝統を誇るブランド苗「淀苗」への支援	伝統を誇る「淀苗」生産者に対し、情報発信、販路拡大や生産技術の向上などに向けた支援を行い、「淀苗」産地の維持・向上を図る。	ブランド強化策検討	予算化	実施	実施	実施	<b>【取組予定】</b> これまでに、淀苗を紹介するパンフレットをJAにおいて作成したことがあるが、さらにブランド力を強化する施策を検討する。  <b>【課題】</b> 淀苗は主に、農家用に生産されているため、一般消費者向けのPRに課題がある。
<b>【新規】</b> 生涯産業としての農業の展開	生涯現役で農業を続けてもらうため、定年帰農者に対する基礎研修や、若手農業者に対する講習会等を開催し、安心・安全な「農業」の維持・向上を図る。	内容検討	予算化	講習・研修会の開催 2回	2回	2回	<b>【取組予定】</b> 定年帰農者をはじめ高齢農業者を対象とした農業の基礎をテーマとした研修や、小規模農家を対象に環境にやさしい農業やICTなどを活用したスマート農業をテーマとした研修等の開催。  <b>【課題】</b> 生涯現役で農業を続けていくために、幅広い世代への生産環境の整備や体力面や安全面をサポートする取組が必要。
<b>【新規】</b> 食品関連企業(誘致を含む)と連携した農業経営の推進によるまちの6次産業化 (庁内連携)	食品関連企業と連携し、新たな品目へのチャレンジや、新たな商品開発などにより、所得の向上や雇用の促進など、6次産業化を推進する。	連携する仕組みを検討	予算化	実施	実施	実施	<b>【取組予定】</b> みなくるタウンに食品関連企業が進出する場合の、農業との連携の仕組みを検討する。  <b>【課題】</b> 実際に当該地で事業者が操業するまでには、相当の時間を要する。

産業振興計画		アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
<p>&lt;継続&gt; 住工混在がない優良 地や良好な農業環境 の維持  (庁内連携)</p>		住居地域、工業地域、農業地域とそれぞれ混在のない土地利用を継続・維持する。	農業環境の維持					<p>【取組予定】 久御山町都市計画マスタープランに基づき将来を見据えた土地利用を図り、自然を活かした農業環境を維持する。</p> <p>【課題】 農業環境を維持するために必要な農業施設の老朽化への対応が必要。</p>
<b>交通</b>								
久御山町地域公共交通網形成計画に基づく就業者への公共交通の利便性の確保								
<p>【新規】 公共交通等の利活用 に関する事業者間の意 見交換  (庁内連携)</p>		町内事業者が公共交通のことを知り、有効に利活用するため、事業者間でワークショップを行う。	ワークショップの開催					<p>【取組予定】 公共交通に関するワークショップを開催。</p> <p>【課題】 町内の公共交通のルートやダイヤの周知が不十分であり、サービスが適切に活用されていない。</p>
<p>【新規】 通勤MM(モビリティ・ マネジメント)や町内の 事業者を来訪する方に 向けたPRの実施  (庁内連携)</p>		町内の事業所に通勤する方の地域公共交通の利用促進と、来訪者へのPRのため、地域公共交通に関するチラシ配布やホームページでアクセス手段の周知を行う。	地域公共交通チラシ配布					<p>【取組予定】 商工会、町内事業者等へ公共交通の啓発チラシを配布。</p> <p>【課題】 町内の公共交通のルートやダイヤを把握している住民の割合が少なく、サービスが適切に活用されていない。</p>
<p>【新規】 自動車・自転車とバス が乗り継ぎやすい環境 整備  (庁内連携)</p>		地域公共交通の利用頻度増加と自動車利用減少による交通渋滞緩和のため、レンタサイクルの利用促進を進め、パーク&バスライドの促進に向けたPRを行う。	<p>レンタサイクル等のPR MaaSの検討 (Mobility as a Service) ※複数の公共交通や移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。</p>					<p>【取組予定】 商工会や企業へのチラシ配布等レンタサイクルの利用促進とパーク&amp;バスライド促進に向けたPR。</p> <p>【課題】 自動車の利用が多いため、慢性的な交通渋滞が発生している。また、パーク&amp;バスライドの促進には大規模な駐車場が必要。</p>



産業振興計画		アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
『拡充』 クロスピアくみやまのバスターミナルの機能充実  (庁内連携)	地域公共交通への関心を高め利用頻度を増加させるため、バスターミナルの通路に路線バスの行先等を表示した路面標示を施し、バスロケーションシステムを設置する。		路面標示等の検討				設置	【取組予定】 バスターミナルに路面標示やバスロケーションシステムを設置するため、バス事業者と詳細を検討する。  【課題】 誰もが使いやすい地域公共交通を実現するため、安心して乗換をしてもらうための環境整備を進める必要がある。
事業者の経営力の向上								
事業者の経営基盤の向上を支援する								
【新規】 ☆重点 自社の強みに気づき、経営力の強化につながる機会創出や認証等へのソフト支援	従業員や後継者を対象に、自社の強みに気づき、それを伸ばすことにつながるDX関係や、ウィズコロナ・アフターコロナを意識したセミナー等を開催し、経営力の向上を図る。併せて、認証取得にかかる情報提供に努める。		内容の検討				セミナーの開催	【取組予定】 ウィズコロナでのセミナー開催に向けて実施方法等の内容を検討する。  【課題】 自社の強みに気づいた事業者へソフト支援を検討する必要がある。
			予算化		3回	3回	3回	
【新規】 ☆重点 Society5.0やSDGsを見据え、経営段階に応じた生産性を向上(AI、IoT化、キャッシュレス化等)するための機械や生産管理システム等への活用研修や導入のバックアップ	中小企業等経営強化法に基づき企業等が作成する「先端設備等導入計画」を適切に認定し、労働生産性の向上を促す。また、省力化・精密化により高品質生産等を可能にするスマート農業も推進する。						先端設備等導入計画の認定 スマート農業の推進	【取組予定】 時限措置から恒久化になった「先端設備等導入計画」の適切な認定を引き続き行う。また、令和3年度からがんばる農家応援事業に「スマート農業」への補助を新たに開始する。  【課題】 先端設備やスマート農業の導入には多額の費用が必要となる。
【新規】 久御山町地域経済牽引事業に基づく固定資産税の減免措置等の支援  (庁内連携)	「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」による本町の基本計画に基づき、固定資産税の減免措置を行う。		制度検討	創設準備	●創設		実施	【取組予定】 同法に基づく基本計画は平成30年度に作成し、国の同意を得ている。同計画に基づき、措置の制度を整備する。  【課題】 関連条例等の整備が必要である。

産業振興計画		アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
【新規】 事業を持続するためのBCP(事業継続計画)対策や環境に配慮した経営の啓発	BCP対策や環境に配慮した経営について、町商工会と連携し、DMやパンフレット、広報等において啓発を行う。							<p>【取組予定】 専門家等の意見を取り入れ、啓発内容及び方策の検討をする。</p> <p>【課題】 制度内容の研究が必要。</p>
<継続> 企業立地マッチング促進事業の継続及び拡充 (庁内連携)	既存の企業立地マッチング促進事業の内容に加え、「みなくるタウン」の整備と連携し、企業集積と誘致を積極的に行う。また、全日本不動産協会や京都府宅建協会からの情報のみならず、府の用地バンクの活用や町内見回り等、積極的に用地に関する情報を収集する。							<p>【取組予定】 既存事業の継続及び積極的な情報収集を行う。</p> <p>【課題】 全日本不動産協会等以外の情報の収集が必要となる。</p>

## 久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

### (2) 情報発信強化

KPI（重要業績指標）	当初（令和2年度）	目標年（令和6年度）
クロスピアくみやまホームページアクセス数	26,521件	30,000件
くみやま夢タワー137ロゴマーク活用件数（延べ）	5件	55件

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
<b>産業情報の積極的な発信・ブランド化の推進</b>							
<b>オール久御山のシティプロモーション</b>							
<p>【新規】 ☆重点 住民や事業者による オール久御山のシティ プロモーションによるもの づくりの苗処のイメージ 定着とブランド化</p>	<p>苗処ロゴマークを活用し、広報等を通じて広く啓発することで住民の意識を醸成するとともに、事業者においても展示会等を通じて広くPRすることで、内外に向けて定着を図り、オール久御山によるシティプロモーションでブランド化を目指す。</p>	→	→	→	→	→	<p>【取組予定】 産業売込み隊の活動を広く周知し、オール久御山の意識の醸成を図る。</p> <p>【課題】 ウィズコロナにおいても効果的かつ継続的に取り組むことができる内容を検討する必要がある。</p>
<p>くみやま夢タワー137 ロゴマークを住民や事業者等が活用できる仕組みづくりと知名度の向上</p>	<p>久御山の知名度向上を狙い、住民・事業者等がロゴマークを広く利用する意識を醸成するとともに、助成制度等、活用の仕組みづくりを創設する。</p>	→	● 制度化	→	→	→	<p>【取組予定】 ロゴマークを活用した名刺やチラシにかかる費用の一部を助成する。売り込み隊で使用する備品を整備する。</p> <p>【課題】 ウィズコロナにおいても効果的かつ継続的に取り組むことができる内容を検討する必要がある。</p>
<p>産業売込み隊による産業情報発信の強化</p>	<p>事業者が参加する展示会等への参加を支援するとともに、活用できる啓発グッズ・備品等を整備し、情報発信力の強化を図る。</p>	→	● 制度化	→	→	→	<p>【取組予定】 展示会への出展費用の一部を助成するとともに、活用できる備品を整備する。</p> <p>【課題】 ウィズコロナにおいても効果的かつ継続的に取り組むことができる内容を検討する必要がある。</p>
		助成制度等の検討		産業売込み隊活動			
				住民・事業者の意識醸成			
		助成制度等の検討		ロゴマークの活用			
		助成制度等の検討		展示会の出展助成			
			5社	5社	5社	5社	

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
<b>特色のある農業情報の発信</b>							
【新規】 ☆重点 農業者の情報がわかるホームページの作成及び充実に向けた支援	農業者の情報を町内外に向けて発信するために、クロスピアくみやまのホームページ内に新たに農業者を紹介するコーナーを作成してPRを図る。					●制度化 HP公開	【取組予定】 HP掲載内容の検討、農業者へのヒアリング  【課題】 多くの農業者は、HPでの情報発信をしていないため、町内外に向けた有益な情報が十分に浸透していない。
【新規】 ☆重点 安心安全な農業生産(GAP等)の推進	食品安全、環境保全、労働安全などの持続可能性を確保するための生産工程管理の取組(GAP)を推進して、競争力の強化、品質向上、農業経営の改善や効率化を図る。					支援の実施	【取組予定】 GAP認証取得を推進するために、農業者への支援内容を検討。  【課題】 ここ最近GAPの取組は進んでいるが、GAP認証の取得は一部の農業者に限られている。
<b>町の戦略的パブリシティ活動の充実</b>							
【新規】 町の公式InstagramやクロスピアFacebookなどのSNSを活用した情報発信  (庁内連携)	SNSを活用し積極的に情報発信するとともに、広報くみやまに創設する産業コーナーの情報をSNSでも発信し、町内外に情報を届ける。					●制度化 広報くみやまの産業コーナー	【取組予定】 SNSの登録者数を増加させるための取組の検討。  【課題】 情報発信力はSNSの登録者数によるところが大きいため、登録者数の増加を図る必要がある。
【新規】 報道機関を活用した町内産業の発信	(仮称)産業大使を任命し、町内で積極的に活動する企業や農業者の情報を発信するとともに、クロスピアくみやまのホームページを活用し旬の情報を流すことで、報道機関への掲載機会の増加を図る。					●制度化 報道機関に情報提供	【取組予定】 ウィズコロナにおける町内産業発信のための(仮称)産業大使の制度を検討し、クロスピアくみやまのホームページ充実を図る。  【課題】 今まで、あまり外向けに情報発信していない事業者の掲載が望ましい。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
<p>【新規】 広報くみやまの産業コーナーの創設  (庁内連携)</p>	<p>広報くみやまに産業のコーナーを新たに設けて、積極的に活動する町内企業や農業者の記事を定期的に掲載することで、町内産業全体の意識の高揚を図る。</p>				●制度化		<p>【取組予定】 掲載内容の検討、企業、農業者への取材を行う。</p> <p>【課題】 今まで、あまり外向けに情報発信していない事業者の掲載が望ましい。</p>
<p>&lt;継続&gt; クロスピアくみやまホームページの企業データベースの登録数の充実</p>	<p>クロスピアくみやまホームページの企業登録数を充実させ、独自情報の掲載を検討することでホームページ閲覧数の増加を狙い、情報発信力の強化を図る。</p>						<p>【取組予定】 関係機関と連携し、登録を促すチラシを作成して配布する。</p> <p>【課題】 ホームページの閲覧数を増やすために登録数の充実が必要。</p>
<b>自社PR力の強化</b>							
<p>【新規】 ☆重点 自社の強みに気づき、発信力の強化につながる継続的なセミナーの開催</p>	<p>従業員や後継者を対象に、自社の強みに気づき、それを伸ばすことにつながるDX関係や、ウィズコロナ・アフターコロナを意識したセミナー等を開催し、発信力の強化を図る。</p>						<p>【取組予定】 ウィズコロナでのセミナー開催に向けて実施方法等の内容を検討する。</p> <p>【課題】 自社の強みに気付くだけでは無く、情報発信とは何かを知る必要がある。</p>
<p>【新規】 ☆重点 ホームページ充実のための支援</p>	<p>ホームページの開設や拡充、見せ方等の支援をすることで、自社PRに欠かせないホームページの充実を図る。併せて、最新の情報を発信するため、更新できる力を身につける取組に支援する。</p>						<p>【取組予定】 ホームページの充実のための支援の方法を検討する。</p> <p>【課題】 ホームページを充実させた後、そのページに誘導するための取組が必要。</p>
<p>&lt;継続&gt; 展示会出展支援助成事業による販路拡大・取引先拡大への支援</p>	<p>町内の中小企業者が展示会等に出展する経費の一部を助成することで、ものづくりのまち久御山を広くPRする。</p>						<p>【取組予定】 公的機関等が開催する展示会等へ出展する経費の一部を助成する。</p> <p>【課題】 町広報紙等による周知で、毎年複数企業が利用されているが、広くPRするためさらなる企業の発掘は必要。</p>

## 久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

### (3) 連携・交流の強化

KPI（重要業績指標）	当初（令和2年度）	目標年（令和6年度）
クロスピアくみやま来館者数	40,552人	80,000人
資材等の町内調達率	15.3%（令和元年度）	18%

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度 of 取組予定・課題
<b>町内事業者間の連携</b>							
<b>町内事業者間の連携強化</b>							
<b>【新規】</b> 町内事業者のビジネス商談会、展示会の開催	クロスピアや久御山町役場等を拠点に、まちの駅クロスピアくみやま運営協議会と連携し、町内事業所間のビジネス商談会や展示会を開催する。	実施可否・内容検討		予算化		実施	<b>【取組予定】</b> 商工会等を通じ実施の可能性を探る。  <b>【課題】</b> 需要の把握が必要。
<b>【新規】</b> 食品関連企業（誘致を含む）と連携した農業経営の推進によるまちの6次産業化（再掲） （庁内連携）	食品関連企業と連携し、新たな品目へのチャレンジや、新たな商品開発などにより、所得の向上や雇用の促進など、6次産業化を推進する。（再掲）	連携する仕組みを検討		予算化		実施	<b>【取組予定】（再掲）</b> みなくるタウンに食品関連企業が進出する場合の、農業との連携の仕組みを検討する。  <b>【課題】（再掲）</b> 実際に当該地で事業者が操業するまでには、相当の時間を要する。
<b>『拡充』</b> 同業種、異業種間の交流の創出、連携強化	まちの駅クロスピアくみやま運営協議会と連携し、町内事業所間連携が深まるよう、同業種・異業種の交流の場を創出。	実施可否・内容検討		予算化	1回	実施 1回	<b>【取組予定】</b> まちの駅クロスピアくみやま運営協議会企業部会を中心に、企画・開催。  <b>【課題】</b> ウィズコロナでの実施。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
『拡充』 産業振興コーディネーターと商工業者との連携強化、雇用創出	就域ディレクターを活用した雇用創出、人材確保への取組を実施する。		会社説明会運営手法の検討				【取組予定】 Web会社説明会を実施し、ウィズコロナにおける雇用創出、人材確保につなげる。 【課題】 需要の把握。
			会社説明会の再開・実施				
			1回	4回	6回	12回	
『拡充』 コーディネーター（農業・商工業）からの施策の情報発信力強化	農地集積コーディネーターが農業者からの情報収集を積極的に行い、また、就域ディレクターの活動を中心に事業者のニーズを的確に把握し、それぞれが必要な情報を適時に発信できるよう努める。						【取組予定】 既存の取組を継続するとともに、さらなる情報収集に努める。 【課題】 それぞれのニーズの的確な把握。
							情報の受発信
<継続> 若手経営者等から構成される団体の活動の活性化	C-AMPや野菜出荷組合等、若手経営者が組織する団体と町の交流・情報交換等を実施し、相互の活性化を図る。						【取組予定】 会議委員や研修講師の相互の起用を継続。 【課題】 将来的な構成員不足が懸念される。
							交流の継続
<継続> 安定した農産物の生産・販売のための共同（協同）を行う団体等への支援	京野菜を生産する複数の農業者が、安定供給を確保するため、共同（協同）で出荷・販売をするなど、農業経営の安定を図っている団体等に向けて支援を図る。						【取組予定】 農業振興施策事業（補助）を実施することで農業生産・販売についての支援を続ける。 【課題】 時代とともに変化する環境や、農業経営の手法について、現状と将来を見据えた施策を常に検討することが重要である。
							補助事業等の実施

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
<b>産業情報発信拠点を活かした連携、交流の強化</b>							
『拡充』 クロスピアくみやまを活用した商談会や交流会	商談会や交流会のためにクロスピアくみやまの交流室を広く一般に貸し出し、今後においても積極的に広報に努め、利用率の向上を図る。						【取組予定】 クロスピアくみやまの貸し出しについてチラシやホームページで周知する。  【課題】 クロスピアくみやまの認知度を向上させる必要がある。
『拡充』 コーディネーターによるメーリングリストの充実や町政情報の発信強化	クロスピアくみやまホームページに登録されている企業を中心にメーリングリストを作成し、それを基に町政情報や支援施策を定期的に発信する。町商工会やまちの駅クロスピアくみやま運営協議会とも連携を図る。						【取組予定】 町商工会とも連携し、情報の共有化、発信強化を図る。  【課題】 商工会員とクロスピア登録の両方を満たす企業への情報の取捨選択や、非会員の扱い。
<継続> クロスピアくみやまホームページの企業データベースの登録数の充実(再掲)	クロスピアくみやまホームページの企業登録数を充実させることで、ホームページ閲覧数の増加を狙い、情報発信力の強化を図る。(再掲)						【取組予定】(再掲) 関係機関と連携し、登録を促すチラシを作成して配布する。  【課題】(再掲) ホームページの閲覧数を増やすために登録数の充実が必要。
<b>産業支援機関との連携</b>							
<b>産業支援機関との連携を図る</b>							
【新規】 ☆重点 アクションプラン作成、実行の推進エンジンとしての産業振興プロジェクト(仮称)の設置	第2期産業振興計画を確実に実施していくために、具体的なアクションプランを作成する。併せて、実行の推進エンジンとしての産業振興プロジェクトの設置を行う。						【取組予定】 令和3年6月に産業振興プロジェクトを設置して、アクションプランを作成する。  【課題】 今後はプロジェクトと併せて、具体的な取組については、分野別ワーキングチームでの活発な議論が重要となる。
		プロジェクト、ワーキングチーム設置		プロジェクト、ワーキングチーム会議の開催			
		4回	4回	4回	4回		



産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
『拡充』 ☆重点 行政、関係機関と連携した情報共有のための体制づくりと情報共有	産業振興プロジェクトとワーキングチームの会議を定期的 に開催することで情報共有を図る。	プロジェクト、 ワーキング チーム設置	4回	プロジェクト、 ワーキングチーム 会議の開催 4回	4回	4回	【取組予定】 令和3年6月に産業振興プロジェクト を設置し、以降、定期的に開催する。  【課題】 情報共有で終わること無く、新たな施 策へつなげていくことが重要。
『拡充』 地元大学や高校等との 連携	町内事業者のことを知ってもらうため、地元の大学と高 校、町が連携を図り、事業者の見学を行い、将来の人材 確保につなげる。		1回	見学ツアーの実施 2回	2回	2回	【取組予定】 山城地域の高校・大学と連携し、町内 事業所の見学ツアーを実施する。  【課題】 受入事業所の選定・確保、学生・生徒 等の集客。
近隣自治体との連携							
<継続> 近隣自治体と連携した 会社説明会や交流会、 展示会の開催	これまで、支援機関や近隣自治体と連携した会社説明会 を行ってきたが、さらに交流会や展示会の開催等、連携 の幅を広げる。	取組内容の検討	予算化		連携した交流 会等の実施		【取組予定】 これまで行ってきた会社説明会だけ でなく、将来的に、近隣自治体と連携 した他の取組についても検討する。  【課題】 ウィズコロナでの開催の手法を検討す る必要がある。
<継続> 近隣自治体との情報交 換	近隣自治体と申し合わせ、同じスキームで行っている施 策があるが、その他の情報についても共有を図り、事業者 の支援につなげる。		1回	情報交換会議の参加・開催 1回	1回	1回	【取組予定】 各種担当者会議を活用し、意見交換 を行う。  【課題】 情報を生きたものとし、形にすることが 必要。

## 久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

### (4) 人材・後継者育成

KPI（重要業績指標）	当初（令和2年度）	目標年（令和6年度）
会社説明会による採用者数（延べ）	41人	91人
人材・後継者育成に資する各種セミナー等の参加者数	32人	50人

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度 of 取組予定・課題
地元出身者、学生の人材確保							
若者をはじめとした求職者や学生に地域の魅力を伝え、地域への就職を地域が一丸となって取り組む「就域」による雇用の確保							
『拡充』 ☆重点 地元教育機関と連携した地元出身者への町内事業者を知る機会の創出	地元の大学・高校と連携し、事業者の見学事業を行っているが、WEBを活用する等、新たに視察を受け入れられる事業者を掘り起こし、将来的な人材確保につなげる。						<b>【取組予定】</b> 山城地域の高校・大学と連携し、町内事業者の見学ツアーを実施する。併せて、新たな受入事業者を掘り起こす。  <b>【課題】</b> 見学を受け入れられる事業者が限られている。
【新規】 シニア層や業種転換などの幅広い人材を確保するための積極的な雇用の推進	まちの駅クロスピアくみやま運営協議会、町商工会、ハローワーク等と連携し、層を絞った会社説明会を開催する。						<b>【取組予定】</b> 就域ダイレクターの活動とも連携し、ターゲット層を選定。ウィズコロナでも開催できる会社説明会を検討・実施。  <b>【課題】</b> 参加企業及び求職者の集客。
<継続> 近隣自治体間連携を通じた広域的な合同会社説明会の開催による人材の確保	本町の求人倍率は依然として高いことから、ウィズコロナにおける広域的な会社説明会の実施手法を検討し、人材の確保を図る。						<b>【取組予定】</b> 就域ダイレクターによる会社説明会の実施手法の検討。  <b>【課題】</b> ウィズコロナにおける合同会社説明会の開催手法を検討する必要がある。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
<b>「就域」活動のサテライトオフィスとしてのクロスピアくみやまの機能向上</b>							
【新規】 ☆重点 クロスピアくみやまホームページにおける求人情報の掲載	クロスピアくみやまホームページに求人情報を掲載し、事業者の人材確保を支援する。						<b>【取組予定】</b> クロスピアくみやまホームページへの求人情報の掲載内容を検討する。  <b>【課題】</b> クロスピアくみやまホームページの閲覧数の増加を図る必要がある。
【新規】 ハローワークや関係機関と連携した就域マッチングの創出	就域ディレクターの活動を中心に、ハローワーク等関係機関と情報共有し、求人と求職者のマッチングを行う。						<b>【取組予定】</b> これまでの会社説明会に加え、Web会社説明会の導入。  <b>【課題】</b> ウィズコロナでの関係機関との連携。Web会社説明会への参加企業集め。
<b>後継者確保や魅力的な職場づくり</b>							
<b>経営者や後継者に対するセミナーの開催</b>							
【新規】 コーディネーター（農業・商工業）が関連機関と連携し、経営力の強化につながるセミナーの開催	就域ディレクター等の活動を中心に、まちの駅クロスピアくみやま運営協議会等関係機関と連携し、決算書の読み方や売上獲得のための対策等、経営力の強化につながるセミナー・勉強会等を開催する。						<b>【取組予定】</b> 就域ディレクターの活動と協調し、勉強会のテーマに経営力の強化につながる内容を盛り込む。  <b>【課題】</b> ウィズコロナにおける勉強会の実施手法。
<継続> 産業支援機関の実施するセミナー等の情報発信	経営者や後継者を支援するため、産業支援機関が実施するセミナー等の情報をクロスピアくみやまのホームページに掲載し周知を図るとともに、チラシ配架等を行う。						<b>【取組予定】</b> 産業支援機関が実施するセミナーの情報を取得し、クロスピアくみやまのホームページに掲載する。  <b>【課題】</b> クロスピアくみやまホームページの閲覧数の増加を図る必要がある。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
<b>魅力的な職場づくりの推進</b>							
<b>【新規】</b> 京都府ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業、子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言企業の拡充 (庁内連携)	働きやすい職場づくりを推進するため、庁内関係部署と連携することで各宣言の周知を図り、宣言企業数の増加を目指す。		取組の検討 予算化			庁内連携による実施	<b>【取組予定】</b> 宣言企業拡充に向けた取組を検討する。 <b>【課題】</b> 宣言をすることによるメリットを整理する必要がある。
<b>【新規】</b> 先進的企業への視察研修の実施	魅力的な職場を推進するため、先進的企業を視察するツアーを開催する。			先進的企業の洗い出し 予算化		視察の実施	<b>【取組予定】</b> 先進的企業の洗い出し。 <b>【課題】</b> 視察した後の取組についての支援も必要である。
<b>【新規】</b> 結婚、出産、子育てしやすい環境の整備 (庁内連携)	現役世代である20歳代、30歳代の働き手を確保するため、結婚、出産、子育てしやすい職場環境の推進を図る。			ワーク・ライフ・バランスの周知			<b>【取組予定】</b> 久御山町第2次男女共同参画プランに基づき、仕事と生活の調和の考え方の周知を図る。 <b>【課題】</b> 従業員の少ない中小企業であるほど、職場環境の整備が難しい。

## 久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

### (5) 創業支援

KPI（重要業績指標）	当初（令和2年度）	目標年（令和6年度）
創業件数	1件	15件
町内事業者の第二創業・事業承継成功事例収集数（延べ）	—	10件

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の実行予定・課題
<b>創業者に対するサポート体制を確立する</b>							
<p>&lt;継続&gt; 創業支援ネットワーク 「久御山チャレンジスクエア」の情報共有によるマッチングサポート</p>	<p>「久御山チャレンジスクエア」のホームページを整理し周知を図るとともに、構成団体との連携を密にする。また、具体的な創業支援メニューを検討し、報共有による創業希望者の課題解決を図る。</p>	<p>制度の整理</p>	<p>予算化</p>	<p>起業支援の実施</p>			<p>【取組予定】 会議を複数回開催し、情報共有を図るとともに、起業時の補助金の検討を行う。</p> <p>【課題】 「久御山チャレンジスクエア」の周知方法を検討する必要がある。</p>
<p>【新規】 創業者へ環境に配慮した経営の啓発</p>	<p>町商工会等が実施する創業塾等において、将来の温室効果ガス排出抑制に向けた企業意識の向上を図る。</p>	<p>内容の検討</p>		<p>チラシ等の配布</p>			<p>【取組予定】 環境保全課と連携し、チラシ作成等啓発の方策を検討。</p> <p>【課題】 企業の目標設定が困難。</p>
<b>第二創業（事業承継）への支援</b>							
<p>【新規】 ☆重点 新たな事業活動となる第二創業や後継者への事業継承を円滑に行えるよう支援機関と連携したサポート体制の確立や成功事例の啓発</p>	<p>第二創業や後継者への事業承継を円滑に行えるよう、支援機関と連携を図り、成功事例集を作成し配布する。また、創業希望者と後継者のいない事業者のマッチングにより廃業数の減少を図る。</p>	<p>体制検討と成功事例の収集</p>		<p>事例集の作成と配布</p>			<p>【取組予定】 支援機関と連携したサポート体制について検討し、成功事例を収集する。</p> <p>【課題】 事業承継の円滑なタイミングや具体的な手続き等を周知する必要がある。</p>

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和3年度の取組予定・課題
産業支援機関等との連携と情報共有							
『拡充』 行政、関係機関と連携した取引先のマッチング、立地や助成制度等の情報共有のための体制づくり	産業支援機関の情報交換の場として、毎年産業振興プロジェクト会議、ワーキングチーム会議を開催し、情報の共有を図る。必要に応じて、会議以外のメンバーを招集し、広く情報共有を図る。	プロジェクト、ワーキングチーム設置	4回	プロジェクト、ワーキングチーム会議の開催 4回	4回	4回	【取組予定】 会議の開催。チャレンジスクエアメンバーとも連携。  【課題】 メンバーの招集。広く集めるには日程や会場確保の問題がある。
<継続> 定期的な情報交換の場の創出	産業支援機関の情報交換の場として、毎年産業振興プロジェクト会議、ワーキングチーム会議を開催し、情報の共有を図る。	プロジェクト、ワーキングチーム設置	4回	プロジェクト、ワーキングチーム会議の開催	4回	4回	【取組予定】 産業振興プロジェクトとワーキングチームを設置し、アクションプランを作成する。  【課題】 情報を共有し、アクションプランを毎年ブラッシュアップしていく必要がある。

## 6 産業振興プロジェクト会議・産業振興ワーキングチーム会議

### (1) 概要

本計画に掲げた方向性を実現するため、計画策定や様々な事業で協力関係を築いてきた産業支援機関や金融機関、京都府、有識者など、産業の各分野で活躍されている主体から構成される産業振興プロジェクト及び分野別のワーキングチームを設置し、アクションプランの作成や施策の立案をしました。

### (2) 構成

メンバーは次のとおりです。

#### ■産業振興プロジェクト委員（敬称略 五十音順）

氏名	役職	備考
阪井 雅智	京都久御山ものづくりC-AMP 代表	
迫田 隆	ハローワーク宇治 所長	
巽 健次	公益財団法人京都産業21市場開拓支援部 部長	
田中 秀和	久御山町商工会 副会長	
中森 孝文	龍谷大学政策学部 教授	座長
西村 嘉高	京都府山城広域振興局農林商工部 部長	
林 淳二	京都銀行久御山町支店 支店長	
村田 正己	久御山町農業委員会 委員	
和田 和由	京都やましろ農業協同組合 常務理事	

■産業振興ワーキングチーム委員 商工施策（敬称略 五十音順）

氏名	役職	備考
生田 陽介	京都銀行久御山町支店 営業課長	
上田 益道	ハローワーク宇治 統括職業指導官	
鵜ノ口眞司	久御山町商工会 課長	
齊藤 徹	株式会社アグティ 代表取締役	
諸戸 秀樹	京都府山城広域振興局農林商工部 農商工連携・推進課 主幹兼係長	
安田 知穂	プラスコート株式会社 代表取締役	

■産業振興ワーキングチーム委員 農業施策（敬称略 五十音順）

氏名	役職	備考
上田 幸子	久御山町農業委員会 委員	
桐木 隆夫	京都やましろ農業協同組合久御山町支店 営農経済課長	
寺内 優介	農業者	
松本 瑠美	京都府山城広域振興局農林商工部 農商工連携・推進課 主幹兼係長	



### (3) 開催経過

会 議 名	開催年月日	議 題
第1回プロジェクト会議・ 第1回ワーキングチーム会議	令和3年6月10日(木)	・久御山町産業振興プロジェクトについて ・アクションプラン(素案)について
第2回ワーキングチーム会議	令和3年7月14日(水)	・アクションプランについて
第3回ワーキングチーム会議	令和3年7月26日(月)	・アクションプランについて
第2回プロジェクト会議	令和3年10月19日(火)	・アクションプランについて